

此の不景氣に一躍倍の所得

目下調査審議中の

石城郡の所得税額

既報石城郡所得税調査委員
會は目下平稅務署樓上に會
開中であるが同署管内の本
年度第三種所得税(個人)

人員は一千二百名で
昨年の一千二百三十七名所
得限度一千二百圓最高七萬
三千圓に比すれば人員にお
いて三十七名を減じ、最高
所得の如きも六萬五、六千
圓に減ずる見込み、總額に
して二割以上の減額を豫想
されてをりその内にも二、
三千圓の所得があつたもの
が三十名も一千三、四百圓
程度に減じた異状の

數字を示し一千四、
五百圓の所得があつたもの
が一躍三千圓倍以上に昇格
した不況に珍らしい現象を
示してゐるのも二、三名に
達してゐると

△五月五日南會津郡、耶麻
郡、河沼郡、大沼郡、若
松市は北會津團体事務所
△五月六日相馬郡、相馬團
体事務所
△同日安積郡、田村郡、岩
瀬郡山形市は農事試験所
△五月八日石城郡、双葉郡
は石城團体事務所
△同日東白河郡、西白河郡
石川郡は西白河團体事務
所で開催する

農繁期と兒童

此解決に託兒事業の講演會

本縣主催で平町に

地方農家等にあつてはそ
ろ／＼繁忙季に入るに従つて
子供達は一種の足手纏ひ視
され邪魔者扱ひにされ勝ち
である、是れは子供自身の
爲に甚だ不幸な結果を見る
と云つて親達が子供を顧み
れば自由に働くその結果を
奪ふ事も大きな損失である

故に本縣社會事業協會にて
は農繁期の託兒所開設を奨
勵中であるが夫れには託兒
所に於て働く適任者を得な
くてはならないので、主と
して小學校の女教員其他篤
志家を此の任務に當てんと
縣下各地に於て講習會を開
く豫定であるが石城郡にて

は十四日から二日間平第二
小學校に於て此の託兒事業
の講習會が本縣主催の許に
開かれる筈で講師は左記の
如く決定したといふ

- △農繁期託兒所の經營
本縣社會課長水谷平吉
- △幼兒の生理衛生 小兒
科醫渡邊久
- △保育法 本縣社會事業
主事昭昭哲之介

春蠶の掃立開始

大体十五、六日頃

桑葉は昨今急速に伸長

掃立一割五分減か

石城地方の春蠶は目下催青
中で掃立は平窪、小川村方
面の

早場で 七八日大並十
二、三日頃で大体十五、六
日に終る模様であるが今年
は降雪の多かつた關係から
桑の成長が幾分遅れてをり
加ふるに繭價安から掃立の
決定に迷つてゐる等から例
年より遅れてゐる、桑芽の
具合は昨今急速に伸びてゐ
るが一般に施肥を手控へて
ゐるので一割五分

程度の掃立減ではあ
るが餘す様な事はなく却て
終り頃に桑不足を來す様な
皮肉な現象を生むではない
かと養蠶業組合では觀測し
てゐる

- △遊戯及び童謡 平第二
小學校訓導木村ヒデ
- △童話の取扱方 本社長
川崎文治

醸造協議出席 平町
山崎與三郎、四家又一の兩
氏は八日仙臺稅務監督局に
開かれる日本醸造協會東北
支部協議會に出席する

- 雄氏長女テル子
- △田町三 鈴木忠次氏(二三)新川町
二二吉田トク(二三)
- △双葉郡 龍田村大字井出字本釜一
〇〇宮本政吉氏(二八)新川町一
九諸橋マチ(二四)
- △立町九一 清原長吉
- △鐵甲町一五 愛知縣名古屋市南區
豊甲町和知泰芳
- △櫻町三一 當時東京府下荏原町大
字戸越一〇六五鈴木傳

滿鮮土産談(五)

川崎小鳥

△滿州の禿山を、一皮む
くと、天然の寶庫だ、石炭
銅、鐵、鉛、大理石、礫石
其他、金も砂金も採れる

△僕は一日鞍山の製鐵所
に案内された、日本の如く
製鐵原料の恵れて居ない國
は、有事の際に、決して穩
やかでは濟まぬ、然るに、
南滿州は實に、日本の鐵鋼
自給自足の鍵を握つて居る
此故を以つて、僕は、鞍山
製鐵所の見學に、探究的の
興味を覺えたのである

△此の製鐵所は、大戰の
終熄と經濟恐慌の襲來等に
災されて、今では業績が、
餘り香ばしいとは云はれぬ
さうだ、それでも、山の様
に大きい三基の熔鑪は、
噴聲の燦高を揚げ、大煙突
からは、黒煙天に沖して立
ち昇つて居た

△僕は此處で、砂型の棒
鐵の造られるのを、興味
深く見た、熔鑪の傍らに

一面の砂畑がある、熔鑪ろ
の中から、ドロ／＼に熔解
された鐵が、耳を聳する燦
高と共に、火花を散らし、
非常に勢で、砂畑のウネの
間に噴出し來るのである、
正に一種の壯觀だ、鐵の熔
液から發する熱に煽られて
暑さに、眼が眩むばかりだ
△此の中に在つて、勞働
者は、ウネの間に流れて來
た、眞ッ赤なよう鐵に、砂
を掛けて、棒型の鐵を造り
出すべく、懸命に立ち働い
て居る、其の裝束は、カー
キー色の防熱帽をかぶり同
じ色の防熱服を着て居る、
何んの事はない、焦熱地獄
に働く、鬼の格構を豫想さ
せる

△而し斯かる、命懸けの
奮闘に依つて、我々の日常
生活と、密接不離の關係に
あるてつが、産み出される
のである事を知つた時、實
に、勞働の尊さと有難さを
痛感せず居られなかつた
△てつ鐵は、五十%以上
の含有てつを越ゆるでなけ
れば富鐵とは云はれない、
鞍山一帶のてつは四十%で
あるから情ない哉貧鐵の部
類に屬する、然れ共幸ひに
獨特の「還元磁化焙燒法」が
發明され、技術的にも、經
濟的にも、此の鞍山式に依
つて、充分に利用價值を生
ずるに至つた。

△即ち鞍山一帶は三億
噸のてつが埋藏されて居る
が、此の方法に依つて一億
噸のてつは生産される、現
在年額は廿萬噸だが、必要
に應じて、年一百万噸宛を
出すとしても、尙且つ今後
一百年は大丈夫である、ま
た此の外日支合辦の本溪湖
煤てつ公司に屬して居るて
つ山も、三百萬噸を下らぬ
から、これを合する時には
莫大な數量に上ると聞き、
日本の恵れた將來を想つて
喜び禁ずる能はざるものが
あつた。

△滿鉄には、其の地方の
教育、土木、衛生、勸業等
を司る、いはば縣廳の様な
「地方事務所」といふ役所が
ある、くらま山の地方事務
所長は元相馬郡長の見坊田
鶴男氏である、丁度僕が行
つた時は、見坊氏が遼陽の
所長から此處に榮轉された
ばかりであつた、非常な氣
輕な方で、今迄は前途リョ
ウヨウと思つて居たがアンザ
ンとの事で、安心しました
」等と大元氣で、僕に好印
象を與へた。

平町の職業紹介

四月中の統計
平町職業紹介所四月の統計

△月見町四〇 當時安積郡久田村大
字堀ノ内字堀ノ在六 無職齋藤貞

赤井組頭後任

石城
郡赤井村消防組頭矢野達氏
死亡缺員となつたのでその
後任に鈴木義晴氏と決定二
日任命された

平町人事

出生
△出 生

美味しいパン

食パン	1斤	14
アンパン	6ヶ	10
クリームパン	04	04
ジャムパン	04	04
チョコパン	04	04
甘食パン	04	04

目丁四平
ヤトモツマ
番四一二話電

野崎氏等の總會に 締め出し

クラブの戸を 堅く閉じて 民派の自家争ひ益々深刻

石城民政派の自家争ひは這般比佐參與官就任祝賀會を好機として開かれた部會總會に於て野崎滿藏氏を
除名した 事に依つて全く表面化し同派は明らかに分裂を見るに至つたが野崎氏等は同總會を認めず自分等の手に依つて正式な總會を開かんと郡内同志に通知を發し明五日前十時から南町の民政クラブに開會の段取りとなつたが肝腎の同クラブは既に固く釘付

母乳の適不適は直ちに 幼児の健康に影響する

乳幼児の愛護週間に好機に 市原醫師が無料検査

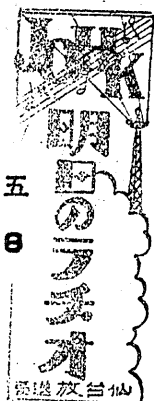
平町にては乳幼児愛護週間の催しとして同役場及び各種団体聯合にて六日午後一時から平館に乳幼児愛護講演會を開催すべきは
既記の如く渡邊醫師及び河合女醫の講演あり終つて映畫會催される等であるが尙ほ當日は午前八時から平衛生會長市原卯太郎氏が田町の市原醫院に於て母乳の検査を無料で行ふ事になつて居る、因に市原醫

に應ずる積りで居るから、どなたも遠慮なくお出になる様貴紙を通じてお傳ひを願ひたい云々

苗代に礦毒

勿來坑排水路 改修實行要請

勿來町では大日本炭礦勿來坑よりの排水のため石城郡錦村田中に至る蛭田川沿岸約二百町歩の水田が年々著しく減收を來してゐる上に鹽分その他の所謂礦毒の肝基の苗代期に雨水が流れ込む結果芽が腐敗し相當の被害を受けてゐるので再三右排水路の改修方を交渉中であつたが未だに放任されてゐるため苗代期を目前に控へて同町農會では窪田農事實行組合の懇望により昨二日同坑に對し排水路を迂回せしむるか若しくは上流にろ過池を設けるかその一を選擇正式に交渉することとあつた、炭界不振の折柄會社側では即答を避け考究する事となつたが若し應ぜねば斷然たる處置に出づべく町との關係が複雑してゐるだけ成行を注視されてゐる



今晩も明日も
南東の風曇り模様

今晩の部

- 後六、〇〇(子供の時間) 兒童劇、俄人形、熊本市城東小學校兒童
- 後六、三〇 英語講座 初等科(九) 岡倉由三郎
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河
- 北新報社ニュース 氣象
- 通報 告知事項
- 後七、二五 産業ニュース
- 後八、〇〇 ラヂオレヴュー 「娘商賣往來」(東京劇場より中斷) 松竹樂劇部

明日の部

- 後九、〇〇 長唄「綱箱」佳住友壽外
- 後九、二五 小唄一、粹な浮世二、お互に三、川竹仇吉
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組
- 豫告 告知事項
- 後六、三〇 ラヂオ体操
- 後九、〇〇 氣象通報
- 後九、一〇 料理献立「鯉の三州漬」佐藤三健發表
- 前〇、三〇 家庭講座 「乳幼児愛護週間に際してゐる

共販米狀況

大浦農業倉庫

石城郡四倉驛前大浦信用組合農業倉庫昨日の共同販賣狀況は俵數三〇八俵にて三等六俵、四等一九〇俵、五等九十五俵、等外一五俵であり落札米は四等六圓九十六錢落札者は平町青木要次湯本町入山採炭會社等である

石城の壯丁検査

明五日から開始

本月五日より検査開始の平微兵所は平第一小學校で五日は草野、赤井、神谷の三ヶ村で一七〇名、六日は小名濱、磐崎村で一八三名、七日は永戸組合村、四倉、大浦村で一七〇名、八日は玉川村及平町の本籍者で一

て「東北帝大醫學部教授 佐藤彰 正午 時報 後〇、〇五 浪花節「赤穂浪士神崎東下り」雲井雷太郎

後六、三〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河

日蓮信者がアザラシ捕獲

勿來海岸で

一七七名、十三日は内郷村の一八六名である

酒造税納付 異状なし

異様の好成績

石城郡下の今回の酒造税は既報の如く日本興業銀行から三万三千二百九十圓を同酒造組合が借受け全員完納を果し三十日一万九千九十二圓第一回の拂込みをなしたがこの不況にも拘らず異様の好成績で第二回の廿五日限りの金一万一千九十七圓の拂込みも何等異状なしと平稅務署は觀測してゐる尙第三回金一万一千一圓は來る六月二十五日限りである

製綿工場と金物庫焼く

小名濱の火事

石城郡小名濱町下明神町四金物商野口新吉所有の同町宇後宿地内の金物倉庫から二日前二時頃發火し四倉庫を全焼して更に隣家の長田製綿工場を半焼した原因損害目下調査中

贈つて便利な 三井の券品商 店服吳井三

貫つて重寶 贈つて便利な 三井の券品商 店服吳井三



おぼえ

東京橋場刺青 (永田安蔵)

「おぼえ」の序文 (其の二)

「おぼえ」の序文 (其の三)

「おぼえ」の序文 (其の四)

「おぼえ」の序文 (其の五)

「おぼえ」の序文 (其の六)

「おぼえ」の序文 (其の七)

「おぼえ」の序文 (其の八)

「おぼえ」の序文 (其の九)

「おぼえ」の序文 (其の十)

「おぼえ」の序文 (其の十一)

「おぼえ」の序文 (其の十二)

「おぼえ」の序文 (其の十三)

「おぼえ」の序文 (其の十四)

「おぼえ」の序文 (其の十五)

「おぼえ」の序文 (其の十六)

「おぼえ」の序文 (其の十七)

「おぼえ」の序文 (其の十八)

「おぼえ」の序文 (其の十九)

「おぼえ」の序文 (其の二十)

「おぼえ」の序文 (其の二十一)

「おぼえ」の序文 (其の二十二)

「おぼえ」の序文 (其の二十三)

「おぼえ」の序文 (其の二十四)

「おぼえ」の序文 (其の二十五)

「おぼえ」の序文 (其の二十六)

「おぼえ」の序文 (其の二十七)

「おぼえ」の序文 (其の二十八)

「おぼえ」の序文 (其の二十九)

「おぼえ」の序文 (其の三十)

「おぼえ」の序文 (其の三十一)

「おぼえ」の序文 (其の三十二)

「おぼえ」の序文 (其の三十三)

「おぼえ」の序文 (其の三十四)

「おぼえ」の序文 (其の三十五)

「おぼえ」の序文 (其の三十六)

「おぼえ」の序文 (其の三十七)

「おぼえ」の序文 (其の三十八)

「おぼえ」の序文 (其の三十九)

「おぼえ」の序文 (其の四十)

「おぼえ」の序文 (其の四十一)

「おぼえ」の序文 (其の四十二)

「おぼえ」の序文 (其の四十三)

「おぼえ」の序文 (其の四十四)

「おぼえ」の序文 (其の四十五)

「おぼえ」の序文 (其の四十六)

「おぼえ」の序文 (其の四十七)

「おぼえ」の序文 (其の四十八)

「おぼえ」の序文 (其の四十九)

「おぼえ」の序文 (其の五十)

ヨウモーターン！
いゝ服を求めたね
断然三一年型だよ
さやコレカネ
例の……「ソレ」



六三四電通場車停目丁四町平

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

外科

内臓外科 醫學士
整形外科
外科一般 松永憲一

平新川町十九
木村病院

◇産婦人科院長從前通り診療

春衣新柄御案内

最も新らしき柄の
銘仙とモスリン着尺
優秀特選
春の帯側

いづれも新品豊富に取揃へました
是非御覽下さる……

三井呉服店

印刷御用の命は總て 常磐日印刷株式會社

番〇三六話電

寒い〜北海道で出来る靈藥
胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前公御典醫之秘法 家録登
靈効散

胃腸病で苦しむ方、心臓、腦病、痔疾、の方には是非
御試下さい、見本藥は御希望の方に進呈致します
から御遠慮御申出下さい、本藥は有り觸れた胃腸藥
の様に一時抑へや習慣性になるものでなく確かに根
治の目的を達します、効き目が効能書以上でアイフ
の三分の一安價で効はアイフ以上値段が安いもので
すから實際大評判の靈藥です、本藥は責任藥に付き
無効の時は返金致します 定價は八日分五十錢です

平町古鍛冶町(電話四四番)

靈効散 阿康藥舖
地方代理店

健胃散
小野常治謹製

セメント
壁用材料
コルタル
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目電三

謹啓 新緑清楚の候各位愈々御健勝の段奉賀上候
偕て私儀來る五月五日より平町田町へ産科婦人科專
門醫院を開業いたすことに相成候間今後共何分の御
後援を賜り度此段御挨拶旁々御願申上候 敬白

井坂久吉
平町田町(舊合津醫院跡)電五五九